

平成 27 年度
第 5 期中原区区民会議 第 4 回課題調査部会

日時 平成27年5月7日（木）13：30～

場所 中原区役所5階503会議室

第5期中原区区民会議第4回課題調査部会 摘録

- 1 開催日時：平成27年5月7日（木）午後1時30分～3時45分
- 2 場所：中原区役所5階503会議室
- 3 出席者：成田部会長、松本副部会長、井上委員、園部委員、塚本委員、中森委員、仁上委員、萩原委員【委員8名】
（事務局）小野副区長、鈴木企画課長、江口係長、大崎職員、西山職員【企画課】
岩下さん【コンサルタント（㈱カイト）】

4 議題等

- ・議題 検討テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」に関する調査検討について

5 傍聴者 なし

6 会議内容

・部会長挨拶

連休中に石巻市の親類を訪ねたが、被害が大きかった地区で親類の住宅も半壊し、2年かかって建て直しができたところだった。瓦礫こそ残っていなかったが、まだ家屋もまばらで夜には真っ暗になってしまう。そこから武蔵小杉に帰ってきたら、煌々とした明るさで、人がどんどん増えている小杉周辺をとっても対照的に感じた。それぞれ考えなければならぬコミュニティの課題があると感じた。

・会議録確認委員の選任（進行：成田部会長）

部会名簿順により、第3回課題調査部会会議録確認委員は中森委員を選任。

・検討テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」に関する課題検討について （進行：岩下（コンサルタント（㈱カイト））

まず、資料1-1、1-2に基づき、「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の実施結果の概要について紹介がされ、続いて資料2と資料3に基づき、課題解決に資する提案についてのとりまとめ状況や、今後実現に向けて検討が必要だと思われる事項や検討の進め方について示された。

【質疑応答・意見交換】

井上委員 提案3の人形劇については、市民提案型事業に無事選定され、今後実施していくわけだが、10月から中原市民館を会場として確保し、区内の保育園の年長児童を5回に分けて招いて、この人形劇を見ていただく予定となっており、本日も子ども支援室でこの打合せを行ったところである。人形劇のテーマは、1年目は子ども支援室から「生活リズムでやっていただきたい」という話をもらい、2年目は観覧者の声から「歯磨き」を取り上げることとなった。そして3年目の27年度は区民会議の審議テーマの検討内容を受けて、「美化」について取り上げていくことが検討されている。今後、このテーマをどのように脚本に取り込んでいくのが重要になってくると思う。区民会議における意見や、市民提案型協働事業審査委員会の委員長からいただいた提案などから「ごみの分別」「ごみ捨てのマナー」「ごみの再利用」と、3つほどテーマが挙げられているが、児童が対象なので、

経験上、時間的にも、また、内容的に楽しく伝えるためも、盛り込むテーマは一つか二つと考えている。区民会議として、できれば子どもたちに最も伝えたいことを御提案いただきたい。

ひとみ座さんとの打合せの中では、「分別して捨てられたごみが、その後再利用されている」というストーリーの流れが一番自然かなと話している。保護者の方々なども「ひとみ座の人形劇」を期待していただいている面があり、それに答える意味では、啓発やメッセージ性が強すぎず、人形劇としてのストーリー性が確保されていることが重要と考えている。26年度は、劇中にオリジナルの「歯磨きの歌」という歌を盛り込んだところ、家で歌いながら歯を磨いたといった多くの反響があったと聞いている。

萩原委員 物語の内容はひとみ座さんが考えるのか。

井上委員 中原アシストクラブとひとみ座と一緒に考えている。特に異論がなければ、今この話の流れで進めていくということで、お任せいただきたい。現在、こども支援室との打合せの中で、「ごみは汚いものではないよ」といったメッセージから「分別」につなげ、最終的には、「リサイクルされて戻ってくるもの」といった脚本が想定されている。

松本委員 ひとみ座の子どもたちへの対応は、プロだ。昨日、中原区まちづくり推進委員会でベーゴマ、竹馬、竹とんぼなど昔の遊びのイベントを開催したところ、隣でひとみ座が人形劇を使って、うまく子どもたちに三番叟などを伝えていた。

事務局（コンサルタント） 昨年度の写真で、ふろん太くんの他にワルンタというキャラクターなどが出演しているのを拝見した。

井上委員 ふろん太くんとフーラン、ワルンタという3体のキャラクターがいるが、この中でワルンタが少し羽目を外す役回りになっている。

事務局（コンサルタント） キャラクター設定を活かした物語を今回もお願いしたいところである。

成田部会長 楽しそう。

松本委員 「この場合はこうするんだよ」といった形でうまくごみの分別マナーの劇ができそう。

成田部会長 仕分けの達人ゲームの取組にもうまくつなげられるとよい。

井上委員 仕分けの達人ゲームと一緒にやることも検討したのだが、1回の公演に400人の園児が来場する予定であるため、市民館では難しいという結論に至った。対象人数が多すぎて、ゲームを運営する人員やスペースの確保も大変という意見だった。

中森委員 それは400人が同時に劇を見るのか。

井上委員 そのとおり。

園部委員 ものすごい人数だ。

萩原委員 舞台の後ろの方の子どもたちは人形がすごく小さくて、見えないのではないか。

井上委員 小学校などで400人以上を対象とした舞台の経験もあるが、舞台が大きく、十分見ていただけた。今回は小さいお子さんなので、特に問題なく大丈夫。

松本委員 毎年、井田小学校体育館にひとみ座さん呼んで、クリスマス会では「ひょっ

こりひょうたん島」などやっただいており、かなりたくさんのお子どもたちに
迫力ある人形劇を見てもらっている。

中森委員 ストーリーはどのくらいの長さになるのか。

井上委員 20分程度で想定しており、それ以上の時間をかけると就学前のお子どもたちでは、
集中力が途切れてしまう。入替え等も併せて30分程度。小学校高学年になれば、
1時間程度でも見るようになる。

中森委員 例えば200人ずつのゲームをしてから人形劇を見るグループと、人形劇を見て
からゲームをするグループに分けてはどうか。

井上委員 公演の入替え制など、こども支援室ともいろいろ検討したが、会場の時間設定
の中で幼稚園や保育園からの移動時間等も考えると難しいということだった。

成田部会長 その日、その場でやれなくても、ゲームのツールを保育園に配り、他の時間にゲ
ームに取り組んでいただければよいと思う。

井上委員 園によっては、年長になると分別用のごみ箱を用意して、教えているところも
あるようだ。

事務局（コンタクト） 今回も歌をつくることは考えているのか。

井上委員 考えている。サポーターの応援歌に言葉を乗せていきたい。楽しみながら実践
してもらい良いきっかけになると思う。ひとみ座と一緒に効果がある形、伝わる
形を目指して、話をまとめていきたいと思う。

萩原委員 可能であれば、各保育園から代表児童が前に出てきて、1回だけみんなの前で
ゲームをやってみる形もよいかもしれない。

井上委員 そういう形だったら可能かもしれない。

萩原委員 先生たちにもそれを見てもらって面白いと思えば、園でも取り組んでくれるか
もしれない。代表に選ばれたお子どもたちも頑張ると思う。

井上委員 おっしゃるように検討してみたいと思う。

成田部会長 次に、アンケートの結果について、どのように活かしていったらよいと考えるか。

萩原委員 アンケートの結果を見て、頑張っている方々に感激し本当に敬意を感じた。遠
慮して提出いただけない方もいたが、集まった中だけでもこれだけのことがある。
素晴らしいと思う。皆さんの取組が積み重なって中原がきれいになっていくとい
いなと思う。最終的には、区民会議の市民報告会の場で活動を紹介したり、冊子
が配れるような形になると良いと思う。活動に関わってもらい人員が少ないなど
困っているところは多いが、他の団体等でも頑張っていることが分かれば、力に
なると思う。今回の調査を通じて取組を知る方も多くいると思う。作成できれば、
冊子は人形劇やゲームの内容も盛り込んで分かりやすいものにできればよいと思
う。

成田部会長 活動の上での苦勞や工夫点として答えてくださった部分を掘り下げて、提案4
から6に活かしていければと思う。何かいいポイントが見つければと思う。

萩原委員 活動団体の力を結集するような場が一度でもあるとよいと思う。例えば、NP
O法人小杉駅周辺エリアマネジメント（以下、「エリマネ」という。）で取り組ま
れている駅周辺の月1回の清掃活動で、どこかで1回、特別な回を企画し、小杉

駅の周辺をみんなで徹底的にきれいにできればアピール力もあるし、マスコミも取り上げて、企業も参加してくれるのではないかな。仮にその場を楽しく感じれば、新たに取り組んでくれる団体も出てくるのではないかな。アンケートの中で「昔は何かしら美化活動などをやっていた」という団体の意見もあったので、そこがもう一度始めてくれるような形を目指したい。JR武蔵小杉駅の駅長もぜひ参加したいとおっしゃっていた。

資料には出ていないが、マンションで花壇活動にすごく熱心に取り組んでいる方々もおられ、ボランティアではないにしても、アンケートをお願いしてもよかったかなと思っている。また、課題のところで特に多かった、たばこの吸い殻の問題については、もっとみんなに知ってもらいたいと思う。

松本委員 連合町会の活動で、輪番制で、元住吉駅、武蔵小杉駅、武蔵中原駅などで清掃活動をしているが、やはり、たばこの吸い殻が目立つ。看板（黄色い看板をかざして）もあるので、このような表示物をもう少し活かせないかな。「川崎市は全域ポイ捨て禁止です」「きれいで住みやすいまちづくり」「川崎市」などと書かれていて、市にもいろいろな表示物があるが、統一した形で何かできればと思う。空き缶やたばこの吸い殻、紙などのポイ捨てが無くなれば、まちはかなりきれいになるのではないかなと思う。区民会議の提案として広く展開できればと思う。

萩原委員 その表示は初めて拝見した。市内は全域ポイ捨て禁止だったのかな。

松本委員 中原生活環境事務所からいただき、マンションなどの近くに3か所ほど設置している。

萩原委員 悲しいもので、花などを植えても持ち去られてしまう事例もあるようだ。（株）富士通川崎工場の、駅前にある花壇も、花を抜いて持ち去られたことがあると聞いている。情けない、悲しいものである。

松本委員 中原区まちづくり推進委員会では、モラル・マナーのポスターを小学生に描いていただく事業も行っており、「ポイ捨て防止」や「ごみ」「環境」をテーマに描いていただいた年もある。子どもたちが描いたポスターは、訴える力も強い。また、これまでは、いろいろな活動が個別に行われていたので、区民会議の取組として広くアピールできればと思う。萩原委員が参加されている「なかはら20年構想委員会」でも区の花パンジーで花回廊をつくろうと取り組んでいらっしゃるが、通学、通勤しながら、きれいなまちを見ることにつながればと思う。それから、「わがまち花と緑のコンクール」が市公園緑地協会の主催で毎年行われているが、中原区からの応募は少ない状況にある。私たちの町会は連続で努力賞をいただいたが、他区に比べて応募数が少ない。入賞するかどうかだけでなく、参加することに意義があると思う。まちの皆さんに見ていただける花と緑がテーマになっているので、中原区からの参加が増えるような形につながっていけばいいと思う。

仁上委員 活動している方々は元々意識が非常に高いと思うが、アンケートは時間がかかる等で答えなかった方々もいると思う。例えば今回のアンケート結果を区民会議だよりなどで紹介できれば、「うちも出せばよかったかな」という団体もあるかも

しれない。アンケート結果を区民の目に触れるようにしていくことが必要だと思う。また、中原区がきれいになりつつあるというのは私も実感している。たばこの吸い殻は依然問題だが、何年か前に比べれば遥かに少ない。吸う場所も限定されてきた。その中で、たばこの吸い殻が多く捨てられているのは排水溝等、特定の場所である。ところで、アンケート内容の公開「不可」と答えた団体は、答えた情報の公開ができないということか。

萩原委員 そのとおり。ただ、「代表者の連絡先」などは公開して欲しくないということで、活動内容自体は公開してもよいというところもありそうだ。また、固有代名詞を出さずに、例えば「S社」という形での紹介ならいいところもあると思う。

事務局（コンサルタント） 提案3の人形劇については、ごみは汚いものではなく、きちんと分別することによって、生まれ変わって手元に戻ってくるといった物語を、キャラクターの設定や応援歌等を活かしながら楽しく伝えていくこととし、詳細は、人形劇団ひとみ座にお願いするというところでよろしいか。

また、提案1のアンケートについては、団体により頑張っている活動が多く存在することが分かったことで、これをまず広報していく。その媒体として「区民会議だより」を活用し、各団体活動の掲載という案が出された。その他、武蔵小杉駅周辺の清掃活動の特別版として、各団体が集まって一緒に取り組んではどうかという意見や、花と緑のコンクールへの区内からの応募者を増やすという意見も出された。

提案2については、あまり御意見が出されていないが、進め方としては、まずは現在、中原生活環境事務所が学校授業などで実施しているプログラムの内容や現場の状況を知ることから始めるとよいのではないかと思われる。これに中原区らしい演出を加え、外国人も分かるように多言語表記にするなどの御意見が出された。より多くの区民が取り組めるようにするということである。

萩原委員 きちんとツール化されていれば、先ほどの話のように人形劇の観覧の際に数人や代表者の子どもだけ実演して、楽しそうだったら園でもみんなもやってみてくださいと言うこともできると思われる。

事務局 資料の写真を見ていただければ、現在の学校授業の取組の様子が御覧になれると思う。小学校4年生を対象に、10人ほどで一度に取り組んでいる。子どもたちの前に「空き瓶」「燃えるごみ」など掲示されたカゴが並べられて、みんなで相談しながら、分別して入れていくような手法を取っている。

松本委員 廃棄物減量指導員でも分別を迷ってしまうようなものがある。高齢者だとさらに分かりにくい。また、御家庭でもごみの分別担当が決まっていて、その方が亡くなったりしてしまうと、残された方は分別が分からない。覚えようとしないうちにもあるようである。

事務局 今、回覧させていただいているのは、最近環境局で作成した新しい資料である。分別がイラスト等で比較的分かりやすいように表現されており、目で見て分かるように作成したとのことで、中原生活環境事業所による出前ごみスクールで配布しているとのことである。取組の場の中でも活用していけるとと思われる。

萩原委員 とても分かりやすいと思う。中原生活環境事務所において子どもバージョンなどつくってはどうか。

中森委員 劇を見たあと、何か子どもたちに宿題として、園で取り組めるようにしてはどうか。この資料は絵が多く感覚的に分かるので良い。多言語版も作成されているようだ。

事務局 環境局ではごみの分別などについて教科書の副読本も作成していて、授業などで活用されている。保育園世代の子どもたちに、どのように分かりやすく伝えるかは課題である。

仁上委員 子どもに伝えることも重要だが、実際にごみを排出しているのは大人である。単身者などにきちんと分別しない人が多いのではないか。

萩原委員 子どもを通じて親子で一緒に取り組んでいただくことをねらっている。

松本委員 町会などで、25～30軒くらいで集積所が設置されると、いろいろなごみが混じってしまうし、どの家も自分の家の前に集積所を設置されるのを嫌がる。しかし、それを4、5軒単位の班にして、大きなポリバケツと一緒に捨てるようにすると、どのごみをどこの家が出したか分かるようになり、向こう3軒両隣のレベルで、お互いに気を使ってうまく分別するようになる。単身世帯の方も催促されると、きちんと出すようになる。そうした形でうまくいっている事例もある。

井上委員 改めてゲームの取組の対象や目的をはっきりさせる必要があるのではないか。当初はどういった経緯だったか。

事務局 中原環境事務所の方では、スマホのアプリの開発等も大学と連携して考えていると聞いている。

事務局（コンサルタント） 元々この話が出てきた際には、外国人やごみの分別の意識の低い方、分別の難しい方などにどうやって分別ルールを広げていこうかという話の中で、「仕分けの達人」を増やしていこうという話だったかと思う。

松本委員 公園などでみんなでごみ拾い等をした後に、交流イベントなどに取り組みばよいねという話があった。

塚本委員 生活環境事務所の職員がいなければできないような手法だとすると、できる回数が限られ、広げていくことができないものができることになる。キット化して、町内会やマンションなどでも一度教えていただければ、できるような形であればよいと思う。マンションではフロア交流会などの機会もある。フロアごとにごみ集積所があるので、話題としても取り上げやすいと思う。周知していくことが目的なので、単発ではなく、細かく何度もできる形を考えていければと思う。

松本委員 廃棄物減量指導員の活動と絡めて進めていきたい。

井上委員 塚本委員のおっしゃるとおり、町会などでもできる形がよい。あとはゲームがクリアできると何かもらえとか、そんな仕組みがあるとよいと思う。川崎フロンターレでも何かを提供できるかについて検討していきたい。

事務局（コンサルタント） 担い手について、何か御意見があるか。キット化に向けては様々な検討や過程がありそうである。

松本委員 地域ごとにやる場合には、町会である程度人を集めることはできる。町会ごと

に廃棄物減量指導員がおり、その方々に声を掛けることもできる。

事務局（コンサルタント） 生活環境事業所の出前講座は小学校に限定していないのではないかと。

事務局 生活環境事務所では、要請があれば、町会等にも出張するプログラムがある。

井上委員 やろうというスキームができて、やる人がいないのであれば、なかなか目指しているところまではたどり着けないのではないかと。誰かが責任を持ってやるような形がある程度必要かと思う。アイデアベースの話はとてもよいが、誰か中心になる人が必要かと思う。

松本委員 分別ゲームの検討については、私がやりたいと思う。

井上委員 私も協力させていただきたい。

中森委員 区民祭などでもできるとよいと思う。

井上委員 昨年の区民祭で、川崎フロンターレ中原アシストクラブへの専修大学学生のインターンシップで、放置自転車をテーマに交通ルール・マナーなどについてゲームを交えてやっていただいた例がある。今年のごみの分別をテーマとして課題として与えれば、実施することも可能かと思う。フロンターレを活用してまちおこしという命題になっているので、仮に分別ゲーム等に取り組むなら、フロンターレのキャラクターなどを活用していただければ、事業の趣旨に沿った形になってやりやすくなる。ブースや舞台の時間もいただけたらと思う。

事務局（コンサルタント） 提案4から6までについての議論に入りたいと思う。御意見はいかがか。アンケート結果を活かす部分にもなるかと思われるし、いくつか形は出てきているかと思う。

通常、期の終わりに区民会議の市民報告会の場が設定されているが、提案6のキャンペーン等の総括の場の候補として検討してみたいかと思う。

萩原委員 市民報告会について、場所やある程度の予算が確保できているということであれば、啓発等の場として活かせるかと思う。

先程お話のあった、武蔵小杉駅周辺の清掃イベントは、できればエリマネさんがやっている普段の活動のどこかで、その拡大版としてできればよいと思う。参加団体の中から、その後継続的に参加して下さる方々も出てくるかもしれないし、広く告知して、区民の力を集結させたいと思う。

松本委員 多摩川の清掃活動が年1回、毎年6月にあるが、その地上型と考えてもよいか。

事務局 多摩川美化清掃は、今年は6月7日となっている。

萩原委員 様々な団体に声をかけて、実現できれば、達成感、連帯感も生まれると思う。

中森委員 ニュースとしてのインパクトもある。

松本委員 まちの中心の目に見える部分はかなりきれいになってきているが、やはりごみを捨てられる場所は、少し見えにくいところである。例えば、植え込みの中やガード下などで、少し暗い所や隅っこ。そういったところを駅周辺で集中的に清掃できれば、かなり違うと思う。

成田部会長 エリマネの清掃活動はマンションの住民よりも周辺の方の参加があると伺ったのだがいかがか。

塚本委員 半分以上はそのとおり。マンション住民の方の参加も募り、今後、増やすよう

な形にしていきたい。

園部委員 秋には、多摩川ではなくて、清掃活動を一齐にする日がなかったか。

事務局 市全体の「市内統一美化活動」で、町会単位などで御参加いただいている。

松本委員 中原区の76町会で美化活動に一齐に取り組んでいる。各町会の現場で清掃活動を行っている。

萩原委員 これまでも行っている事業、活動等とあわせてしまうと、区民会議の新たな提案という面がなくなってしまうと思われる。新たな活動をつくっていく方向性が必要だと思う。

成田部会長 従来型のコミュニティだけでなく、新たなコミュニティの要素を入れていくということか。新しい方たちにも参加していただけるような形にしたい。

園部委員 区民会議から発信できたら、素晴らしいと思う。

萩原委員 やはり最初は寒い時と暑い時期は外して、ちょうど良い気候の時の方がいいか。

松本委員 美化のイベントが従来のもので新しいもの、いろんな形で何回かあることによって、気運が高まると思う。

井上委員 年末とかも良いのではないか。

中森委員 新しい方に参加していただけるような、何か仕掛けが欲しい。例えば御褒美に何か配るなど。

萩原委員 一齐にみんなでやること自体が楽しくなると思う。総勢何千人、何万人という単位にしたい。企業等にも声をかければ、実現できる可能性もあると思う。

事務局（コンサルト） 今回のアンケート調査に答えていただいた団体には、区民会議が考えていることをある程度知っていただいたし、協力いただいた団体は今後の取組の上でも、まず、声掛け対象になるかと思う。「非公開」という団体も、先ほど御指摘があったように、その度合いの違いもあるだろうし、声を掛ければ活動には参加していただける団体もあるかもしれない。また、最初から大きくしようとしなくて、徐々に参加者を増やしていくような考え方もよいと思う。

提案5の啓発物については、いかがか。先ほどの意見でもたばこの吸い殻やガード下などの目立ちにくい場所が課題という意見が出された。

松本委員 ポイ捨て防止の啓発ができるとよいと思う。

塚本委員 アンケートでもたばこの吸い殻の課題は多く出されていた。例えば啓発物を掲示するにはどこの許可が必要なのか。

松本委員 町内会だと思う。

事務局 各町内会のごみ集積所で外から見えにくい場所であれば、町会判断で掲示できるかと思われる。ただし、景観条例等の問題なども確認していく必要がある。例えば松本委員のお持ちになったポイ捨て禁止の啓発掲示は黄色でかなりインパクトのある配色なので、小杉駅周辺では景観上の理由から、設置が難しそうである。

松本委員 掲示したいのはポイ捨てのある場所で、目立たない場所や隙間などである。ここはということに掲示できれば効果はありそうである。

事務局 それぞれの地権者等に相談する必要がある。高架下などでは、恐らくJRになるかと思われる。

塚本委員 自由にはできないということか。

事務局 そのとおり。

萩原委員 「区民会議」や「中原区」と入った新たなものをデザインして作りたい。

塚本委員 ポイ捨て防止啓発ということで、デザインできるとよい。デザインを作っていく過程も楽しいと思う。景観上で色の規制があるようなら、それも教えていただければと思う。各地域での課題箇所はアンケート結果にも表れているので、そこが掲示候補になると思う。「清掃活動を毎月第〇何曜日にやっています」というような文言も入れられれば、捨てにくくなると思う。

井上委員 「放置自転車禁止」の掲示は、まちなかでよく掲示されているように思うが。

事務局 道路の路面等については、道路公園センターの許可が必要かと思われる。確認させていただきたい。

事務局（コンサルタント）川崎区では区民会議の提案で津波防災の意識を高めるための海拔表示を町会掲示板に設置した例がある。町内会の掲示板だったので、町内会にお願いして、設置した例がある。

井上委員 デザイン的にもシンプルで、町内会掲示板がつけやすかったということだと思う。今回設置したいのはポイ捨てされる場所だから、いかがなものか。

松本委員 私が本日お持ちしたポイ捨て禁止の掲示を渡したら、マンションの方は非常に喜んでいました。

井上委員 9月の「市内統一美化活動」はどのくらいの方々が参加されているのか。

事務局 数などはここでは分からないが、町内会が中心である。

塚本委員 商店街や市民団体はあまり参加していないということか。

萩原委員 いろいろな団体に参加してもらえる形を目指したいところだ。

井上委員 今回のアンケートの結果は結果としてよいが、比較対象があるとさらによいと思う。その意味で、例えば今回実施したアンケートを定期的に行うなどにはできないか。例えば今年はこのような声が出ていたが、来年はこうなったとか、こういう活動が増えたなど示せるようになれば、と思う。一回限りではもったいないなあと思う。情報公開不可の理由なども、もう少し掘り下げて聞いてみたい。

萩原委員 各団体、本当に忙しい中で、なんとか依頼してこれだけ集まったところなので、すぐまたもう1回というのは少し頼みにくい。過去の取組も含めて時間をかけて答えていただいた団体もあった。実際に取り組む人が増えていき、意識が高まればよいと思う。自分たちもできるとしてもらい、うちの会社もやってみよう、この活動に参加してみよう意識をしていただけるようにつなげていきたい。

事務局 取組がいろいろある中で、熟度も異なり、一度に取り組むのは難しい面もあるが、取組の優先順位等がもし決められれば、御意見をいただきたいと思う。

井上委員 取組4と6は同じで、一つに集約されていくと思う。

事務局（コンサルタント）最終的には区民会議の市民報告会を集約の場として考えていくということではよろしいか。

井上委員 取組2、3、4、5ということでどうか。全部で4つになる。6は区民会議市民報告会として実現させていくなど。

事務局（コンサルタント） どの取組を落とすのかというよりは、手順的に捉えてはいかがか。取組3の人形劇は既に動いている面がある。

塚本委員 取組4は、区民会議発の新たなクリーンデーを企画していこうということか。

事務局（コンサルタント） 今日はそのような意見が出されたが、もともとは頑張っている活動団体を応援していこう、参加する人を増やしていこうといった目的があった。

井上委員 区民会議市民報告会とクリーンアップと一緒にやるという考え方もある。

塚本委員 これまでは、区民会議も含めてなかなかイベントに参加してもらえないという悩みがあった。

萩原委員 自分たちも掲載されている冊子が配られたり、発表があるような形になれば集まってもらえるのではないか。

井上委員 そのあたりの設計図がまだアイデア段階でうまく描けていないと思う。これから詳細に実現に向けて詰めていく必要がある。区民会議を知ってもらうということ、人を集めて担い手を育てようという流れはよいと思う。

事務局（コンサルタント） 本日全て検討するのは難しいかもしれないが、確かに啓発・キャンペーンについては、アイデアはたくさん出されたものの、何をするのか、どのような手順とするのかはまだ詳細に決まっていない。

塚本委員 提案3については区民会議が主体というよりは、支援していくという話なので、これだけになってしまうと少し寂しいように思われる。

事務局 区民会議の市民報告会は、毎回パフォーマンスをするなど、人を集める工夫を苦勞して考えている。何かのイベントを併せて実施するのは検討してもよいかと思われる。

事務局（コンサルタント） 提案2の分別ゲームについては、松本委員を中心に既存の取組の現場確認から始めていただき、廃棄物減量指導員等と連携する形で町会等でも取り組めるようなツールを目指す。また、区民祭なども「場」として検討していくということでもよろしいか。提案4については、小杉周辺をクリーンアップする、大勢の区民や団体が集まる清掃活動の場を仕掛けていくことから始める。また、提案5については、ポイ捨て問題箇所を第一のターゲットにして検討を進めていく。そして全体としては、区民会議市民報告会を集約の場として設定していくということでもよろしいか。

事務局 今回で課題調査部会は最後になるが、提案1から3までについては、ある程度進め方の目途が立ったかと考えられるが、提案4から6までについては、部会長と事務局と調整をしながら、ということでもよろしいか。

塚本委員 調整した結果、取組をやめる可能性もあるということか。

事務局 調整の結果によっては、取組の形が変わったりすることもあるかと思われるが、部会長とも調整をさせていただきたい。

塚本委員 ごみのポイ捨てを撲滅するという取組はぜひやってみたいと思う。

井上委員 取組方について、話が消えてしまう可能性もあるということか。事務局としてもやりにくい部分があれば、はっきり言っていただけると、それも考慮した話合いができると思う。担い手や実施期間が、空白のままでは今後の方向性は見えて

こない部分もあるので、例えば担当を決めておいてはどうか。進めましょうという認識は共有しておきたいところだ。皆さんお忙しいが、例えば先ほどのゲームについては、松本さんがやりましょうとおっしゃってくださったから、我々も協力しやすくなったと思う。

塚本委員 やはり取組面でも区民会議である程度やっていくほうが良いと思う。

事務局（コンサルタント） 担当の委員を決めておけば、今後の具体的な取組についての検討や調整は、その委員を中心に調整等進めていくということになる。今後検討の上で、少なくともその中心となる委員と相談しながらということになれば、いつの間にか取組案が立ち消えているということにはならないと思われる。

井上委員 担当の委員から他の委員に声をかけていくようになればよいと思う。

- ・協議の結果、各提案の担当者について、提案2は松本委員を中心に、中森委員、園部委員、仁上委員、提案4及び6は塚本委員及び萩原委員、提案5は井上委員及び塚本委員に決定。

7 その他

6月4日（木）開催の運営部会で本日の審議結果を報告予定。資料内容の調整については、成田部会長と事務局に一任された。

8 閉会

部会長より閉会宣言

以上